

# つかこうへいと筑豊研究会

No. 4

発行：筑ゼミ「つかこうへいと筑豊研究会」

発行日：平成31年1月15日

問合せ先：090-4474-8051(池田)

## つかこうへい生誕

### 70年記念ツアー公演

#### ●劇団「9PROJECT」

#### 大分公演を観劇

「日本の芝居を変えた男」や「つかこうへい以前、つかこうへい以後」と言われ、1970～1980年代にかけて演劇界に大きな影響を与え、「つかブーム」旋風を巻き起こしたつかこうへい氏。

つか氏は1994年、北区と協力して「北区つかこうへい劇団」を設立(2011年解散)。また1996年には大分市と協力して「大分市つかこうへい劇団」を設立(2000年解散)。1998年には北海道北広島市に「つかこうへい北海道演劇人育成セミナー」を開設するなど、地方からの文化の発信を目標に演劇活動に力を入れていましたが、2010年7月10日、肺がんのために62歳で亡くなりました。

昨年は、つか氏の生誕70年を迎え、いろんな劇団でつか氏の芝居が各地で上演されました。

「つかこうへいと筑豊研究会」では、「北区つかこうへい劇団」の解散後に、劇団員の9期生だった渡辺和徳、小川智之、高野愛の3人で設立した「9PROJECT」(大分公演10月24～25日)を観劇しました。

「9PROJECT」は設立以来70～80年代のつか作品を中心に活動している劇団です。

この作品は、つか氏が1982年、第1次演劇活動の拠点・劇団「つかこうへい事務所」を解散し、その打ち上げに書いたもので、その年の大晦日のNHKの「紅白歌合戦」の裏番組としてテレビドラマ化され、話題となりました。

「つか版」といわれるように、「これから始まる物語はフィクションであり、史実、時代考証を超越し、人間関係、生活パターンを無視した現代ドラマである」と、テレビドラマの最初に注意書きが表示されたとか・・・。

日本人にお馴染みの『忠臣蔵』も、「つか版」では過去の傑作を巧みにアレンジしながらも、つか芝

居の真骨頂というべきか、過激で、破壊的で、しかもお馴染みの三角関係の設定で事件が勃発。登場人物の人間性を鋭く描く手法で、観客を魅了します。

芝居が終わった後、劇場のあちらこちらにたむろしている観客の姿が見られ、不思議に思っていると「つか芝居は、観客がすぐに劇場から出て行かず、芝居を振り返るののように感想を観客同士で語り合い、確かめ合っているんですよ」と劇団関係者。これこそが、つか芝居のマジックなのです。

#### ●つか氏の足跡を訪ねて

翌日は、元「大分市つかこうへい劇団」(以下劇団)の衛藤延洋氏に、大分でのつか氏の足跡を訪ねて市内を案内して頂きました。

衛藤氏は劇団の設立に尽力された一人で当研究会でも講演をして頂くなどご協力を頂いております。「つかさんと出会わなかったら、公務員で終わった」と語られる衛藤氏は、現在は大分市議会議員として活躍され、市内を案内して頂いている時も、いろんな人から声をかけられ、慕われている様子が



うかがい知れました。

まず案内されたのは劇団の稽古場があった場所で、大分駅から歩いて10分程の所にありました。

4階建てのビルは老朽化で、4〜5年前に解体され、現在は市の駐車場と化していました。

当時、つか氏の下には連日のように東京から出版社の編集者や演劇関係者の来客が引つ切り無しに訪れ、市内で飲み歩くことも多く、お気に入りの食事処も市内にいくつもあり、その中でも今も営業されている、つか氏がよく利用されていたという居酒屋「てんでん」に案内をしていただきました。

衛藤氏と、元劇団員の田中竜一氏も昼休み時間に合流し、昼食を戴きながら、お話を伺うことができました。

田中氏は長崎の出身で、大分劇団員のオーディションを受けて入団。病院事務が出来た事から、つか氏の紹介で市内の病院で事務仕事をする傍ら劇団員として活躍されています。

つかさんは、疲れた折には、田中氏の勤務する病院で点滴を打ち

ながら稽古場に通う日々だったといます。田中氏は劇団解散後もその病院の事務管理部で勤務されています。

また、大分市は駅舎をはじめ、駅周辺は新しいビルが建ち並び、つか氏が暮らしていた頃の風景とは様変わりしており、20年という月日を感じたものです。

つかさんは、「大分市つかこうへい劇団」を5年で解散。大きな原因は、韓国での公演の失敗だったと言われています。

衛藤氏に市内を案内して頂きながら、「私(池田)は父親の実家が大分市は坂ノ市」と話すと、衛藤氏が市役所時代に坂ノ市に池田という先輩がいて親しくされているというお話を聞き、同一人物かなと思つて帰ってきました。

そして今年、本家から届いた年賀状に「東京在住中に毎年つかこうへい劇団の新人オーディションの審査委員に関わり、新宿紀伊国屋ホール『売春捜査官』の公演にも関わっていた」と記されておりびっくりいたしました。

両親が亡くなり、本家との交流

も疎遠になって久しかったのですが、池田家のルーツを求めて3年前に本家を尋ねたものでした。そしてこの度、その本家ともつかこうへい氏を通して繋がりがあったことに不思議な「ご縁」を感じたものでした。

\*\*\*\*\*

### ✿つか氏の生前の貴重な

#### 稽古風景や公演のCDも

つかこうへい氏の作品集を筑豊の図書館等にご寄贈をいただいた(株)トレンドシアアの吉川明希様から、つか氏が生前に撮られた芝居の稽古風景や公演の貴重なCDやつか氏の晩年の写真など研究会に頂きました。

当研究会の資料とし大切にするとともに、今後の研究会で皆さんとCDを鑑賞してつかさんの作品に触れていきたいと考えています。

### ◆つかこうへい氏の作品集

#### 寄贈の取組みについて

昨年、(株)トレンドシアア様より、つかこうへい氏の作品集全集(32冊)を筑豊の図書館や大学

などにご寄贈戴きました。ありがとうございました。ご寄贈戴いた図書館と大学等は以下の通りです。嘉麻市立嘉穂図書館、同碓井図書館、同山田図書館、飯塚市立図書館、田川市立図書館、桂川町立図書館。近畿大学産業理工学部福岡キャンパス、近畿大学九州短期大学、田川市石炭・歴史博物館等。尚、トレンドシアアのHPに「つかこうへい作品集」が紹介中です。



写真は桂川町立図書館にて

### ◆2月定例会のご案内

定例会を偶数月の第3日曜日から第4土曜日に変更いたします。  
日時・2月23日(第4土曜)  
13時30分〜15時30分  
場所・善照寺(嘉麻市上西郷590)